

1

1 第三十年四月五日、私がケバル川のほとりで、捕囚の人々のうちにいた時、天が開けて、神の幻を見た。

2 これはエホヤキン王の捕え移された第五年であつて、その月の五日に、

3 主の言葉がケバル川のほとり、カルデヤびとの地でブジの子祭司エゼキエルに臨み、主の手がその所で彼の上にあつた。

4 私が見ていると、見よ、激しい風と大いなる雲が北から来て、その周囲に輝きがあり、たえず火を吹き出していた。その火の中に青銅のように輝くものがあつた。

5 またその中から四つの生きものの形が出てきた。その様子はこうである。彼らは人の姿をもっていた。その

6 おのおの四つの顔を持ち、またそのおのおのに四つの翼があつた。

7 その足はまっすぐで、足のうらは子牛の足のうらのようであり、みがいた青銅のように光っていた。

8 その四方に、そのおのおのの翼の下に人の手があつた。この四つの者はみな顔と翼を持ち、

9 翼は互に連なり、行く時は回らずに、おのおの顔の向かうところにまっすぐに進んだ。

10 顔の形は、おのおのその前方に人の顔をもっていた。四つの者は右の方に、ししの顔を持ち、四つの者は左の方に牛の顔を持ち、また四つの者は後ろの方に、わしの顔をもっていた。

11 彼らの顔はこのようであつた。その翼は高く伸ばされ、その二つは互に連なり、他の二つをもつてからだをおおっていた。

12 彼らはおのおのその顔の向かうところへまっすぐに行き、翼の行くところへ彼らも行き、その行く時は回らない。

13 この生きもののうちには燃える炭の火のようなものがあり、たいまつのように、生きものの中を行き来している。火は輝いて、その火から、いならずまが出ていた。

14 生きものは、いならずまのひらめきのように速く行き来していた。

1

15 私が生きものを見ていると、生きもののかたわら、地の上に輪があつた。四つの生きもののおのの、一つずつの輪である。

16 もろもろの輪の形と作りは、光る貴かんらん石のようである。四つのものは同じ形で、その作りは、あたかも、輪の中に輪があるようである。

17 その行く時、彼らは四方のいずれかに行き、行く時は回らない。

18 四つの輪には輪縁と輻とがあり、その輪縁の周囲は目をもつて満たされていた。

19 生きものが行く時には、輪もそのかたわらに行き、生きものが地からあがる時は、輪もあがる。

20 霊の行く所には彼らも行き、輪は彼らに伴つてあがる。生きものの霊が輪の中にあるからである。

21 彼らが行く時は、これらも行き、彼らがとどまる時は、これらもとどまり、彼らが地からあがる時は、輪もまたこれらと共にあがる。生きものの霊が輪の中にあるからである。

22 生きものの頭の上に水晶のように輝く大空の形があつて、彼らの頭の上に広がっている。

23 大空の下にはまっすぐに伸ばした翼があり、たがいに相連なり、生きものはおのおの二つの翼をもつて、からだをおおっている。

24 その行く時、私は大水の聲、全能者の声のような翼の声を聞いた。その声の響きは大軍の声のようで、そのとどまる時は翼をたれる。

25 また彼らの頭の上の大空から声があつた。彼らが立ちとどまる時は翼をおろした。

26 彼らの頭の上の大空の上に、サファイヤのような位形があつた。またその位の形の上に、人の姿のような形があつた。

27 そしてその腰とみえる所の上の方に、火の形のような光る青銅の色のものが、これを囲んでいるのを見た。私はその腰とみえる所の下の方に、火のようなものを見た。そして彼のまわりには輝きがあつた。

28 そのまわりには輝きのさまは、雨の日に雲に起るにじのようであつた。

主の栄光の形のさまは、このようであつた。私はこれを見て、私の顔をふせたとき、語る者の声を聞いた。

ケルゼム

1:



反逆の家。 2: , 3: , 12:

2

1 彼は私に言われた、「人の子よ、立ちあがれ、私はあなたに語ろう」。
 2 そして彼が私に語られた時、霊が私のうちに入り、私を立ちあがらせた。そして彼の私に語られるのを聞いた。
 3 彼は私に言われた、「人の子よ、私はあなたをイスラエルの民、すなわち私にそむいた反逆の民につかわす。彼らもその先祖も、私にそむいて今日に及んでいる。
 4 彼らは厚顔で強情な者たちである。私はあなたを彼らにつかわす。あなたは彼らに「主なる神はこう言われる」と言いなさい。
 5 彼らは聞いても、拒んでも、（彼らは反逆の家だから）彼らの中に預言者がいたことを知るだろう。
 6 人の子よ、彼らを恐れてはならない。彼らの言葉をも恐れてはならない。たといあざみといばらがあなたと一緒にあっても、またあなたが、さそりの中に住んでも、彼らの言葉を恐れてはならない。彼らの顔をはばかつてはならない。彼らは反逆の家である。
 7 彼らが聞いても、拒んでも、あなたはただ私の言葉を彼らに語らなければならない。彼らは反逆の家だから。

厚顔で強情。

反逆の家は

災いのことばを語
(巻物)

2

8 人の子よ、私があなたに語るところを聞きなさい。反逆の家のようにそむいてはならない。あなたの口を開いて、私が与えるものを食べなさい」。
 9 この時私が見ると、見よ、私の方に伸べた手があった。また見よ、手の中に巻物があつた。
 10 彼が私の前にこれを開くと、その表にも裏にも文字が書いてあつた。その書かれていることは悲しみと、嘆きと、災の言葉であつた。

3

1 彼は私に言われた。「人の子よ、あなたが与えられたものを食べなさい。この巻物を食べ、行つてイスラエルの家に語りなさい」。
 2 そこで私が口を開くと、彼は私にその巻物を食べさせた。
 3 そして彼は私に言われた、「人の子よ、私があなたに与えるこの巻物を食べ、これであなたの腹を満たしなさい」。私がそれを食べると、それは私の口に甘いこと蜜のようであつた。

Rev. 10:8-10

巻物を食べよ。



3

4 彼はまた私に言われた、「人の子よ、イスラエルの家に
行って、私の言葉を語りなさい。
5 私はあなたを、異国語を用い、舌の重い民につかわすの
でなく、イスラエルの家につかわすのである。
6 すなわちあなたがその言葉を知らない、異国語の舌の重
い多くの民につかわすのではない。もし私があなたを
そのような民につかわしたら、彼らはあなたに聞いた
であろう。
7 しかしイスラエルの家はあなたに聞くのを好まない。彼
らは私に聞くのを好まないからである。イスラエルの
家はすべて厚顔でまた強情である。
8 見よ、私はあなたの顔を彼らの顔に向かって堅くし、あ
なたの顔を彼らの顔に向かって堅くした。
9 私はあなたの顔を岩よりも堅いダイヤモンドのようにし
た。ゆえに彼らを恐れてはならない。彼らの顔をはば
かってはならない。彼らは**叛逆の家である**。
10 また彼は私に言われた、「人の子よ、私があなたに語る
すべての言葉をあなたの心におさめ、あなたの耳に聞
きなさい。
11 そして捕囚の人々、あなたの民の人々の所へ行って、彼
らが聞いても、彼らが拒んでも、『主なる神はこう言
われる』と彼らに言いなさい」。

厚顔で強情

3

12 時に霊が私をもたげた。そして主の栄光がその所からの
ぼった時、私の後に大いなる地震の響きを聞いた。
13 それは互に相触れる生きものの翼の音と、そのかたわら
の輪の音で、大いなる地震のように響いた。
14 霊は私をもたげ、私を取り去ったので、私は心を熱く
し、苦々しい思いで出て行った。主の手が強く私の上
にあった。
15 そして私はケバル川のほとりのテルアビブにいる捕囚の
人々のもとへ行き、七日の間、驚きあきれて彼らの中
に座した。
16 七日過ぎて後、主の言葉が私に臨んだ、
17 「人の子よ、私はあなたをイスラエルの家のために見守
る者とした。あなたは私の口から言葉を聞くたびに、
私に代って彼らを戒めなさい。
18 私は悪人に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、あなたは
彼の命を救うために彼を戒めず、また悪人を戒めて、
その悪い道から離れるように語らないなら、その悪人
は自分の悪のために死ぬ。しかしその血を私はあなた
の手から求める。
19 しかし、もしあなたが悪人を戒めても、彼がその悪を
も、またその悪い道をも離れないなら、彼はその悪の
ために死ぬ。しかしあなたは自分の命を救う。
20 また義人がその義にそむき、不義を行うなら、私は彼の
前に、つまずきを置き、彼は死ぬ。あなたが彼を戒め
なかったゆえ、彼はその罪のために死に、その行った
義は覚えられない。しかしその血を私はあなたの手か
ら求める。
21 けれども、もしあなたが義人を戒めて、罪を犯さないよ
うに語り、そして彼が罪を犯さないなら、彼は戒めを
受けいれたゆえに、その命を保ち、あなたは自分の命
を救う」。

エゼキエルは
イスラエルの家を見張り

見張り . 33: →



3

22 その所で主の手が私の上に臨み、彼は私に言われた、「立って、平野に出て行きなさい。その所で私はあなたに語ろう」。

23 そこで、私は立って平野に出て行つた。見よ、主の栄光が、かつて私がケバル川のほとりで見た栄光のように、その所に立ち現れたので、私はひれ伏した。

24 しかし霊が私のうちにはいつて、私を立ちあがらせ、私に語って言った、「行つて、あなたの家にこもつていなさい」。

25 人の子よ、見よ、彼らはあなたの上になわをかけ、それであなたを縛り、あなたを民の中に行かせないようにする。

26 私はあなたの舌を上あごにつかせ、あなたをおしにして、彼らを戒めることができないようにする。彼らは

叛逆の家だからである。

27 しかし、私があなたと語るときは、あなたの口を開く。

あなたは彼らに「主なる神はこう言われる」と言わなければならない。聞く者は聞くがよい、拒む者は拒むがよい。彼らは叛逆の家だからである。

4

1 人の子よ、一枚のかわらを取つて、あなたの前に置き、その上にエルサレムの町を描きなさい。

2 そしてこれを取り囲み、これにむかつて雲梯を設け、壁を築き、陣を張り、その回りに城くずしを備えてこれを攻めなさい。

3 また鉄の板をとり、それをあなたと町の間に置いて鉄の壁となし、あなたの顔をこれに向けなさい。町をこのように囲んで、その包囲を押し進めなさい。これがイスラエルの家のしるしである。

4 あなたはまた自分の左脇を下にして寝なさい。私はあなたの上にイスラエルの家の囲を置く。あなたはこのようにして寝ている日の間、彼らの囲を負わなければならない。

5 私は彼らの囲の年数に等しいその日数、すなわち三百九十日をあなたのために定める。その間あなたはイスラエルの家の囲を負わなければならない。

6 あなたはその期間を終つたなら、また右脇を下にして寝て、ユダの家の囲を負わなければならない。私は一日を一年として四十日をあなたのために定める。

4

7 あなたは自分の顔をエルサレムの包囲の方に向け、腕をあらわし、町に向かって預言しなければならぬ。

8 見よ、私はあなたに、なわをかけて、あなたの包囲の期間の終るまで、左右に動くことができないようにする。

9 あなたはまた小麦、大麦、豆、レンズ豆、あわ、はだか麦を取つて、一つの器に入れ、これでパンを造り、あなたが横になつて寝る日の数、すなわち三百九十日の間、これを食べなければならぬ。

10 あなたが食べる食物は量つて一日に二十シケルである。あなたは一日に一度これを食べなければならぬ。

11 また水を量つて一ヒンの六分の一を一日に一度飲まなければならない。

12 あなたは大麦の菓子のようにしてこれを食べなさい。すなわち彼らの目の前でこれを人の糞で焼かなければならぬ。

13 そして主は言われた、「このようにイスラエルの民は私が追いやりとうとする国々の中で汚れたパンを食べなければならない」。

14 そこで私は言つた、「ああ、主なる神よ、私は自分を汚したことはありません。私は幼い時から今日まで、自然に死んだものや、野獣に裂き殺されたものを食べたことはありません。また汚れた肉が私の口にはいつたことはありません」。

15 すると彼は私に言われた、「見よ、私は牛の糞をもつて人の糞に換えることをあなたにゆるす。あなたはそれで自分のパンを整えなさい」。

16 また私に言われた、「人の子よ、見よ、私はエルサレムで人のつえとするパンを打ち砕く。彼らはパンを量つて、恐れながら食べ、また水を量つて驚きながら飲む。

17 これは彼らをパンと水とに乏しくし、互に驚いて顔を見合わせ、その罰のために衰えさせるためである。

汚れたパンを食べ

エゼ 26:26 パンがよい

包囲された町で、汚れたパンを食べ

罰を受ける



1 人の子よ、鋭いつるぎを取り、それを理髪師のかみそりとして、あなたの頭と、ひげとをそり、はかりで量って、その毛を分けなさい。

2 その三分の一は包囲の期間の終る時、町の中で火で焼き、また三分の一を取り、つるぎで町のまわりでこれを打ち、さらに三分の一を風に散らさない。私はつるぎを抜いて、彼らのあとを追う。

3 あなたはその毛を少し取って、衣のすそに包み、4 またそのうちから少しを取って火の中に投げ入れ、火でこれを焼きなさい。火はその中から出て、イスラエルの全家に及ぶ。

5 主なる神はこう言われる、私はこのエルサレムを万国の中に置き、国々をそのまわりに置いた。

6 エルサレムは他の国々よりも悪しく、私のおきてにそむき、そのまわりの国々よりも私の定めにそむいた。すなわち彼らは私のおきてを捨て、私の定めに歩まなかった。

7 それゆえ主はこう言われる、あなたがたはそのまわりにいる異邦人よりも狂暴であって、私の定めに歩まず、私のおきてを行わず、むしろ、あなたがたの回りにいる異邦人のおきてを守っていた。

8 それゆえ主なる神はこう言われる、見よ、私はあなたを攻め、異邦人の目の前で、あなたの中にさばきを行うう。

9 あなたのもろもろの憎むべき事のために、私がまだした事のないような事、またこの後ふたたびしないような事をあなたに對してする。

10 それゆえ、あなたのうちで父はその子を食べ、子はその父を食う。私はあなたに對してさばきを行い、あなたのうちの残りの者をことごとく四方の風に散らす。

忌むべきものであり

11 それゆえ、主なる神は言われる、私は生きている。あなたはその忌むべき物と、その憎むべき事をもつて、私の聖所を汚したので、私は必ずあなたの数を減らす。私の目はあなたを惜しみ見ず、また私はあなたをあわれまない。

12 あなたの三分の一はあなたの中で疫病で死に、ききんで滅び、三分の一はあなたのまわりでつるぎに倒れ、三分の一は四方の風に散らされる。私はつるぎを抜いてそのあとを追う。

13 こうして私は怒りを漏らし尽し、憤りを彼らの上に漏らし、満足する。こうして、私の憤りを彼らの上に漏らし尽した時、彼らは主である私が熱心に語ったことを知るであろう。

14 私はまわりにある国々の中と、すべてそばを通る者の目の前であなたを滅亡とあざけりに渡す。

15 私が怒りと、憤りと、重い懲罰とをもつて、あなたに對してさばきを行う時、あなたはそのまわりにある国々のあざけりとなり、そしてなり、戒めとなり、驚きとなる。これは主である私が語るのである。

16 すなわち、私があなたを滅ぼすききの矢、滅亡の矢をあなたに放つ時、私はあなたを滅ぼすために放つのだ。私はあなたの上にききんを増し加え、あなたがつえとするパンを打ち砕く。

17 私はあなたにききんと野獸を送って、あなたの子を奪い取り、また疫病と流血にあなたの中を通らせ、またつるぎをあなたに送る。主である私がこれを行うう。



ヨシヤ
2章34:4

レビ記26:30

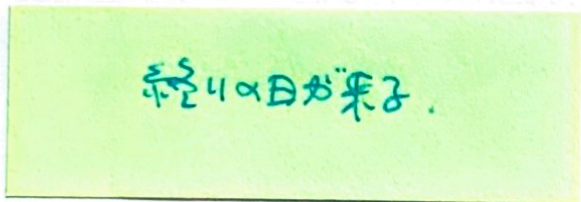
6

- 1 主の言葉が、私に臨んで言った、
- 2 「人の子よ、あなたの顔をイスラエルの山々に向け、預言して、
- 3 言え。イスラエルの山々よ、主なる神の言葉を聞け。主なる神は山と丘と、谷と川に向かって、こう言われる、見よ、私はつるぎをあなたがたに送り、あなたがたの高き所を滅ぼす。
- 4 あなたがたの祭壇は荒され、あなたがたの香の祭壇はこわされる。私はあなたがたの偶像の前に、あなたがたの殺された者を投げ出す。
- 5 私はイスラエルの民の死体を彼らの偶像の前に置き、骨をあなたがたの祭壇のまわりに散らす。
- 6 すべてあなたがたの住む所で町々は滅ぼされ、高き所は荒される。こうしてあなたがたの祭壇はこわし荒され、あなたがたの偶像は砕かれて滅び、あなたがたの香の祭壇は倒され、あなたがたのわざは消し去られる。
- 7 また殺された者はあなたがたのうちに倒れる。これによつて、あなたがたは私が主であることを知るようになる。
- 8 私は、あなたがたのある者を生かしておく。あなたがたが、つるぎをのがれて国々の中におり、国々に散らされる時、
- 9 あなたがたのうちののがれた者は、その捕え移された国々の中で私を思い出す。これは私が、彼らの私を離れた姦淫の心と、偶像を慕って姦淫を行う目をくじくからである。そして彼らはそのもろもろの憎むべきことと、その犯した悪のために、みずからをいとうようになる。
- 10 そして彼らは私が主であることを知る。この災を彼らに對して下すと、私が言ったのは決してむなしい事ではない」。

6

- 11 主なる神はこう言われる、「あなたは手を打ち、足を踏みならして言え。ああ、イスラエルの家のすべての悪しき憎むべき者はわざわいだ。彼らはつるぎと、ききんと、疫病に倒れるからである。
- 12 遠くにいる者は疫病で死に、近くにいる者はつるぎに倒れる。生き残つて身を全うする者はききんによつて死ぬ。このように私はわが憤りを彼らの上に漏らし尽す。
- 13 彼らの殺される者がその偶像の中にあり、その祭壇のまわりであり、すべての高き丘の上にあり、すべての山の頂にあり、すべての青木の下にあり、すべての茂ったかしの木の下にあり、彼らがこうばしいかおりを、すべての偶像にささげた所にある時、あなたがたは私が主であることを知るのである。
- 14 私はまた手を彼らの上に伸べて、その地を荒し、すべて彼らの住む所を、荒野からリブラまで荒れ地とする。これによつて彼らは私が主であることを知るようになる」。





4:5,10

1 主の言葉がまた私に臨んだ。
 2 「人の子よ、イスラエルの地の終りについて主はこう言われる、この国の四方の境に終りが来た。
 3 いま、あなたの終りが来た。私はわが怒りをあなたに漏らし、あなたの行いに従って、あなたをさばき、あなたのもろもろの憎むべき物のためにあなたを罰する。
 4 私の目はあなたを惜しみ見ず、またあなたをあわれまない。私はあなたの行いのためにあなたを罰する。あなたの憎むべき事があなたのうちにある。これによつて、あなたがたは私が主であることを知るようになる。
 5 主なる神はこう言われる、災が引き続いて起る。見よ、災が来る。
 6 終りが来る。その終りが来る。それが起つて、あなたに臨む。見よ、それが来る。
 7 この地に住む者よ、あなたの最後の運命があなたに来た。時は来た。日が近づいた。混乱の日で、山々に聞える喜びの日ではない。
 8 私は、すみやかに私の憤りをあなたの上に注ぎ、私の怒りをあなたに漏らし尽し、あなたの行いに従ってあなたをさばき、あなたのもろもろの憎むべき事のためにあなたを罰する。
 9 私の目はあなたを惜しみ見ず、またあなたをあわれまない。私はあなたの行いのためにあなたを罰する。あなたの憎むべき事があなたのうちにある。これによつて、あなたがたは、主である私があなたを撃つことを知るようになる。
 10 見よ、その日を。また見よ、かの日が来た。あなたの最後の運命が来た。不義は咲き、高ぶりは芽を出した。
 11 暴虐はついつて悪のつえとなった。彼らもその群衆も、その富も消え、また彼らの名声も消えて何も残らなくなる。

12 時は来た。日は近づいた。買う者は喜ぶな。売る者は悲しむな。怒りがすべての群衆の上に臨むからだ。
 13 売る者はたとい生きていても、その売ったものに帰ることとはない。怒りがそのすべての民衆の上にあるからだ。それはもとに帰らない。その不義のために、だれも命を全うすることはできない。
 14 人々がラッパを吹いて備えをしても戦いに出る者はない。それは私の怒りがそのすべての群衆の上にあるからだ。
 15 外にはつるぎがあり、内には疫病とききんがある。畑にいる者はつるぎに死に、町にいる者はききんと疫病に滅ぼされる。
 16 そのうちの、のがれる者は谷間のはどのように山々に行つて、おのおの皆その罪のために悲しむ。
 17 両手とも弱くなり、両ひざとも水のように弱くなる。
 18 彼らは荒布を身にまとい、恐れが彼らをおおい、すべての顔には恥があらわれ、すべての頭は髪をそり落す。
 19 彼らはその銀をちまたに捨て、その金はあぐたのようになる。主の怒りの日には金銀も彼らを救うことはできない。それらは彼らの飢えを満足させることができない、またその腹を満たすことができない。それは彼らの不義のつまずきであつたからだ。
 20 彼らはその美しい飾り物を高ぶりのために用い、またこれをもつてその憎むべき偶像と忌むべき物を造つた。それゆえ私はこれを彼らに對して汚れたものとする。
 21 私はこれを外国人の手に渡して奪わせ、地の悪人に渡してかすめさせる。彼らはこれを汚す。
 22 私は彼らから顔をそむけて、彼らに私の聖所を汚させる。強盗がこれにはいつて汚し、
 23 また荒地とする。
 24 この地は流血のとがに満ち、この町は暴虐に満ちているゆえ、
 24 私は国々のうちの悪い者どもを招いて、彼らの家をかすめさせる。私は強い者の高ぶりをやめさせる。また彼らの聖所は汚される。
 25 滅びが来るとき、彼らは平安を求めても得られない。
 26 災に災が重なりきたり、知らせに知らせが相つぐ。その時、彼らは預言者に幻を求める。しかし律法は祭司のうちに絶え、計りことは長老のうちに絶える。
 27 私は悲しみ、つかさは望みを失い、その地の民の手はおのきによつてこわばる。私は彼らの行いに従つて彼らをあつかひ、そのさばきに従つて彼らをさばく。そして彼らは私が主であることを知るようになる」。

